

5年生 171災害伝言ダイヤル



蚕糸の森研究所「防災研究室」の活動に取り組んでいます。日本公衆電話協会の皆様を講師にお招きし、「公衆電話」や「災害伝言ダイヤル」の使い方を教えていただきました。

被災地では回線が混雑するため、携帯電話等を使って連絡を取り合うことが難しくなるそうです。しかし一方で「公衆電話」や「災害伝言ダイヤル」は安否確認において強い味方になるとのことで、本物の公衆電話を使ったのレクチャーでした。子どもたちは「初めて公衆電話を使ってみたけれど、手順があると分かった。」「自分の安全を伝えると、家族は安心すると思うから今日の学習を生かしたい。」などと感想をもちました。